「MRIにおける脊椎加齢性変化の縦断的研究」に対するご協力をお願い

研究代表(責任)者 渡辺 航太
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 整形外科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

1993年から1996年にかけてMRI診断研究会（慶應義塾大学整形外科）が行なった初回研究、その10年後研究(2005年から2007年)、20年後研究(2015年から2017年)(承認番号:20150050)を行い縦断的なMRI上の頸椎加齢変化を調査しました。それらの研究に参加歴のある方が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20251037

研究課題名 MRIにおける脊椎加齢性変化の縦断的研究

3 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学病院

研究代表者

(職位) 准教授 (氏名) 渡辺 航太

共同研究機関

佐野厚生総合病院

研究責任者

(副部長) (氏名) 前田 祥宏

JCHO 山梨病院

(部長) (氏名) 大畑 徹也

済生会中央病院

(部長) (氏名) 今林 英明

東海大学病院

(教授) (氏名) 渡辺 雅彦

伊勢原協同病院 （院長）（氏名）鎌田 修博

済生会横浜市東部病院 （部長）（氏名）福田 健太郎

4 本研究の目的、方法

初回研究から30年経過した現在、無症候性健常者とむちうち損傷患者の、頰椎の加齢が経時的にどのように変化するのか、またそのような変化が臨床症状の発生にどのように関与するのかを明らかにすることが目的です。上記参加者を対象に、慶應義塾大学病院および共同研究機関で、医師による診察と脊髄MRIの撮影を行います。本研究は慶應義塾大学病院が研究代表機関であり、共同研究機関は上記通りです。匿名化された臨床データと画像は慶應義塾大学に集められ、実務責任者の責任下で施錠された整形外科レントゲン保管室に厳重に管理されます。

5 協力をお願いする内容

整形外科医師による診察に加えて、自記式評価表により現在の健康状態に関する質問票に回答してもらいます。自記式評価表には、頭痛・頰部痛・肩こり・吐き気・めまい・耳鳴り・上肢症状・腰痛のVisual Analog Scale (VAS)と日常生活動作（運動量や仕事）の項目があります。MOS Short-Form 8-Item Health Survey (SF-8)、Neck disability indexにも回答頂きます。それに加えて整形外科医による診察、脊髄MRIの撮影を行います。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2030年3月31日

7 外部への試料・情報の提供

該当しません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、途中での参加中断や、個人情報提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記電話、メールへのご連絡をお願いいたします。

担当者：岩井 俊介（いわい しゅんすけ）（慶應義塾大学整形外科）

電話番号：090-5466-0995（月曜日から土曜日 9時から17時）

メールアドレス：shuun1225@gmail.com

以上